

令和8年度 佐賀市立北山東部小学校 教育課程

1 学校教育目標

郷土を愛し、心豊かで心身共にたくましく、生き生きと学ぶ東部っ子の育成
～進んで学習・心と体をきたえて何事にもチャレンジ・自分も友だちも大切に～

2 本年度の重点目標

【進んで学習】「なぜ」を大切に、自ら問い、学びを楽しむ児童の育成
【心と体をきたえて何事にもチャレンジ】失敗を糧に、あきらめず挑戦し続ける心の育成
【自分も友だちも大切に】個性を尊重し、納得解を創る集団の育成

3 重点取組内容

(1) 学習指導の充実

○児童の主体性を高めるために、「自律」「尊重」「創造」を意識した授業改善を図っていく。
・児童が「なぜ」「もっと知りたい」という思いから自分自身の問いを創出し、探究を続ける授業づくりに努める。そのために、教師は、児童の「なぜ」「もっと知りたい」に共感し、児童が学びの形にするまで伴走する。
・A Iドリルや1人1台端末の活用を充実させて個に応じた主体的な学びにつなげていく。
・児童同士の協働、教職員や地域の方との対話、先哲の考え方を考えること等を通じ、互いを尊重するとともに自己の考えを広め深める「対話的な学び」がある授業を展開していく。
・振り返りの活動を充実させ、知識を相互に関連付けてより深く理解したり思いや考えを基に創造したりすることができるようにする。

(2) 生徒指導の充実

○「出番」「役割」「承認」をキーワードにして、児童が自己決定できる環境づくりを行い、学校生活全般において、自己肯定感を高め、主体性を伸ばしていく。
・児童にマイゴール(夢や挑戦すること)を決めさせ共有させることで、お互いに認め合い、高め合う集団づくりをしていく。
・学校行事では、目的と方法を児童に考えさせる場面を設定する。価値観の違いを対話で乗り越え、全員で共有した目標で取り組ませる。
・ルールメイキング(学校・学級のルールの見直し)等の取組を通して、児童が主体となり対話を重ね納得解を作っていく取り組みを推進する。
○月に1回生徒指導協議会を開催し、児童の状況の情報共有を図り、対応を検討し、組織で動く体制を構築していく。
○心のアンケートを毎月1日に実施して、いじめの未然防止、早期発見に努める。

(3) 特別支援教育の充実

○月に1回教育相談連絡会を開催し、児童の様子について情報交換をする。支援が必要な児童については、課題の共有、支援のあり方について全職員で共通理解を図る。また、状況に応じてケース会議を開催する。
○児童の状況を的確に把握するために心のアンケートやWEBQUを活用する。
○児童の特性に応じた適切な支援を行うため、スクールカウンセラーをはじめ各専門機関との連携を図る。
○講師を招聘した研修会を実施して、教職員の特別支援教育に関する専門性を高める。
○校中の学習環境や授業のユニバーサルデザイン(UD)化を推進する。

(4) 他校との交流による教育の充実

○他校との交流活動を年に数回実施する。
・本校だけでは体験できない多人数と関わる場面を設定する。この活動を通して、児童のコミュニケーション能力を高める。また、多人数の中で自分の考えを発言できたことに自信を持たせる。
・本校児童は、中学校へ極少数で進学することになる。その不安を取り除き、スムーズに進学することができるようにするため、近隣の小学校と交流活動を実施する。
・移動等の負担軽減のため交流の事前や事後にオンラインを活用しての交流も計画する。